



“今こそやるとき！”



の時期が一番記憶力が良い。そういう年ごろに記憶力で、身につけなければならぬものをきちんとつけてやるのが愛情だと思っんです。教えるべき時期が人にはある。…後略」

「がむしやら」。本当に良い言葉だと思います。中学校・高校時代は、頭が柔らかく、記憶力も最高に良い時です。頑張りも大変利く時です。そんなときにがむしやらを経験して欲しいと思います。

―「今」苦しまないでいつ苦しむ―

中学校の3年生、2学期の重点目標は、含蓄のある言葉だとしみじみ思います。大人のみなさんが子どもの頃に頑張ったことや頑張ればよかったことなど、人生観を子どもたちへ話してください。今出来ること、今しないといけないことを行う事は、きつとよい未来を生み出すことでしょう。



○「子ども達は、大きな声でご挨拶ができていました。言葉づかいも上手でしたよ。」

○「大変素晴らしいかったです。子ども達の無限の可能性を感じました。やろうと思えば何事もやれるのだと思いました。」

○「素晴らしい」の一言でした。今後もこれだけのことを達成できたことを糧に、さらなる成長を期待しています。感動しました。」

○「難しい言葉をよく覚えたものだと感じました。親も一緒に取り組んだことが良くわかりました。地域の応援も素晴らしいですね。」

○「長時間の式典にもかかわらず、きちんとできるその辛抱強さに感心しました。これも一朝一夕にして育つものではないと思い、感心しました。」

○「今まで、小学生がこれほど集中し、心を一つにしてできるとは思っていませんでした。先生方の指導の賜物でしょう。」

○「素晴らしいです。全児童が一糸乱れずの演奏、本当に感動いたしました。一つの事に打ち込む姿は実に見事でした。」

○「子ども達の能力の限界への挑戦、先生方の指導力への挑戦、その成果が見事に発揮されていきました。」

子ども達にはこれらの励ましの言葉を讀んでかせました。今、それに応える「一筆啓上 家族や地域の方々への感謝の便り」を書いているところです。

子ども達は、着実に「やればできる東っ子」に育っています。教職員一同、二十二日の感激も新たに、これからこれまで以上に頑張っていきたいと思っています。

今後ともご協力、ご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

